

## 第2期大洲市立幼稚園・保育所等再編計画



令和 7 年 3 月

愛媛県大洲市



## は じ め に



令和の新しい時代となり、日々社会情勢が変化中、大洲市では1市2町1村の合併から20年を迎えました。市民の皆様には、これまで進めてきた市政運営へのご理解ご協力に心より厚くお礼申し上げます。

さて、近年における急速な少子化の進行、核家族化や就業する女性の増加、新型コロナウイルス感染症の影響や、人口減少による地域のコミュニケーションの希薄化など、子育てや子どもを取り巻く社会環境が大きく変化している今日、次代を担う子どもたちは社会の希望であり、未来を創造していく存在であることから、社会全体で子育てを支援することが求められています。

国では、幼児期の教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めるため「子ども・子育て支援新制度」を平成27年4月より施行し、保育所、幼稚園、認定こども園等におけるこどものすこやかな育ちを支援しています。

これらの施設は、こどもの生涯にわたる人間（人格）形成において、未来を作り出す基礎を培うことを目的としており、現在における著しい社会情勢の変化に対して子育てに思い悩む保護者も増えている中、その役割はますます大きくなっているところです。

大洲市は、平成17年の市町村合併により、多くの公共施設等を引継ぎましたが、築後多年を経過した施設も数多く存在し、必要性・緊急性の高い施設から順次建替え等を行ってまいりました。しかしながら今後において建替え等が必要となる施設は依然として存在しております。

一方、本市における公立の幼稚園、保育所は、平成30年度の「大洲市立幼稚園・保育所再編計画」策定後、統合、認定こども園化等により、幼稚園6、保育所15、合計21の施設数から、認定こども園4、幼稚園3、保育所7の合計14施設となりました。しかしながら、老朽施設の耐震性や、慢性的な保育士不足、少子化の進展による利用児童数の減少傾向は解消されておらず、今後においてはより一層深刻化していくことが予測されています。このままでは将来にわたっての適正な規模による子育てサービスの提供が困難になってまいります。

このような様々な問題を解消し、こどもの望ましい未来を作り出す基礎となる資質や能力を育む質の高い教育や保育の提供とともに、今後の人口減少や少子化の進展下においても変わる事のない、持続可能な子育て環境の実現を図るため、大洲市立幼稚園・保育所再編計画の見直しを行いました。

本計画を礎として、すべての子育て世帯を地域の皆様とともに支え、みんなの笑顔がきらめくまちを「チーム大洲」でつくっていきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年3月

大洲市長 二宮隆久

## 目 次

|     |                   |    |
|-----|-------------------|----|
| 1   | 計画策定の趣旨           | 1  |
| (1) | 計画の目的             | 1  |
| (2) | 計画の位置付け           | 2  |
| (3) | 計画期間              | 2  |
| 2   | 現状と課題             | 3  |
| (1) | 児童数               | 3  |
| (2) | 運営費の状況            | 4  |
| (3) | 施設の状況             | 5  |
| 3   | 将来人口と保育ニーズ等の推計    | 6  |
| (1) | 将来人口の推計と就学前児童数    | 6  |
| (2) | 利用児童数の推移          | 7  |
| (3) | 保育ニーズ等の推計         | 8  |
| 4   | アンケート調査から見た施設の在り方 | 9  |
| (1) | 調査結果              | 9  |
| (2) | 結果考察              | 10 |
| 5   | 再編の基本方針           | 11 |
| (1) | 持続可能性を高める施設再編     | 11 |
| (2) | 質の高い教育・保育の実現      | 13 |
| (3) | 私立就学前施設との協働       | 13 |
| (4) | SDGsを考慮した施設整備     | 13 |
| 6   | 再編計画              | 14 |
| (1) | 再編方針              | 14 |
| (2) | 再編に向けて配慮すべき事項     | 17 |
| 7   | 計画策定の経緯           | 18 |

# 1 計画策定の趣旨

## (1) 計画の目的

本市では、公立就学前施設の耐震性や保育士不足、多様な保育ニーズに対応するため、平成31年3月、①施設の統合・再編・整備、②認定こども園化の推進、③被災施設の早期復旧を基本方針とした大洲市立幼稚園・保育所再編計画（以下、「第1期計画」という。）を策定以降、再編、整備、認定こども園化を進めてまいりました。

この間、全国の多くの地方都市では、人口減少や少子高齢化が急速に進展しています。このことは、自治体運営の基礎となる税収や地方交付税交付金の減少につながるものであり、それぞれの自治体には規模縮小していく財政力の中にあっても、行政サービスの質を低下させることなく、持続可能性の高い自治体運営への変革が求められています。

本市においても、人口減少対策を最重要課題の一つと位置付け、長期的視点に立って、出会い・結婚支援、妊娠・出産支援、子育て支援といった少子化対策を積極的に展開しています。

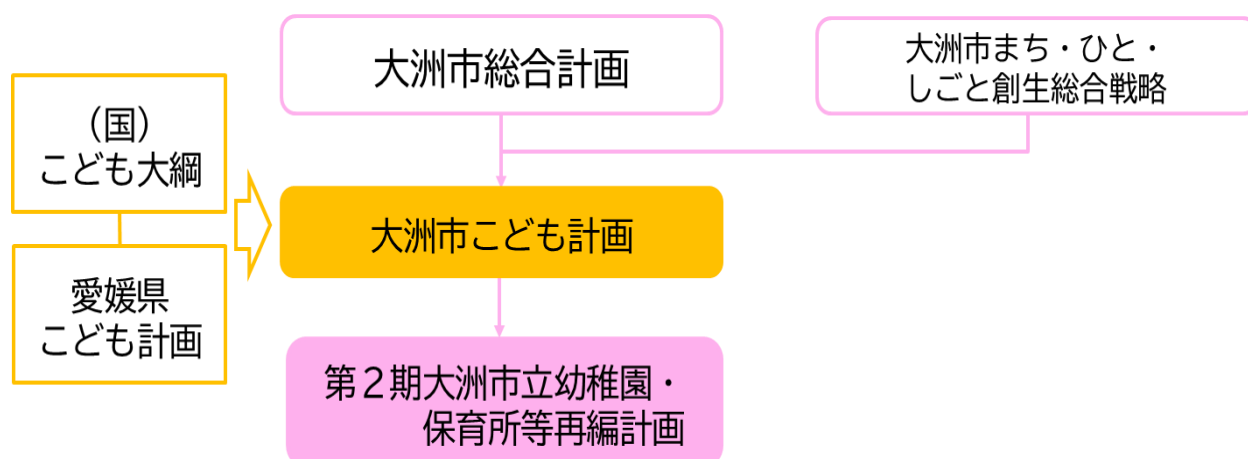
一方で、子育て行政における就学前教育・保育の現場においては、慢性的な保育士不足が解消されないまま、少子化の進展による利用児童数の減少といった問題が顕在化しています。財政的課題にあわせて、内閣府、文部科学省及び厚生労働省が示す「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に示されている、多くの友達と関わり、様々な体験を重ねる中で育まれる協同性や道徳性・規範意識の芽生えなど、こども一人ひとりの資質や能力を磨き、生きる力の基礎を培う観点からも、非常に重要かつ対応が急がれる課題となっています。

本計画は、これらの課題に対応するため、本市が推進する就学前施設の認定こども園化に向けて、既存の幼稚園及び保育所の再編、統合、整備の方向性を明らかにするため策定するものです。



## (2) 計画の位置付け

本計画は、子育て行政における大洲市総合計画及び大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）の実施計画として位置付け、公立幼稚園・保育所等における望ましい子育て環境の実現に向けて、施設ごとの方針や施設全体の再編方針を含めた具体的な計画を示したものとなります。また、国のこども大綱が目指す「こどもまんなか社会」を実現するために、令和 7 年度～11 年度を計画期間として策定する大洲市こども計画に基づく、公立就学前施設の管理運営計画となります。



## (3) 計画期間

本計画の計画期間は、令和 7 年度から令和 16 年度までの 10 年間とします。

なお、計画期間中において、社会経済情勢や児童数等に大幅な変化が確認された場合など、必要に応じて計画の見直しを行います。



## 2 現状と課題

### (1) 児童数

令和6年4月現在、市内には認定こども園、幼稚園、保育所等が22施設あり、そのうち公立の施設は14施設あります。

直近10年間の利用児童数を見ると、少子化の影響により、多くの施設で利用児童数が減少していることが分かります。中には既にごく少数の児童となり、集団での教育及び保育が困難となりつつある施設もあります。

表1 教育・保育施設の利用児童推移

単位：人/各年度4月1日現在

| 区分     | 施設名          | 定員<br>(R6) | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    | 増減<br>R6-H27 | 備考          |
|--------|--------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|-------------|
| 認定こども園 | 市立 大洲こども園    | 180        | 184   | 197   | 199   | 186   | 179   | 173   | 155   | 154   | 136   | 124   | -60          | 大洲保+肱南保+大洲幼 |
|        | 東大洲こども園      | 171        | 177   | 167   | 154   | 120   | 124   | 140   | 140   | 126   | 124   | 125   | -52          | 肱北保+喜多幼     |
|        | 菅田こども園       | 116        | 98    | 103   | 105   | 93    | 84    | 89    | 103   | 94    | 87    | 75    | -23          | 菅田保+大成保     |
|        | 肱川こども園       | 50         | 63    | 59    | 54    | 49    | 49    | 40    | 38    | 33    | 28    | 28    | -35          | 肱川保+肱川幼     |
|        | 私立 悠園        | 105        | 69    | 63    | 71    | 72    | 75    | 81    | 88    | 92    | 85    | 90    | 21           |             |
|        | 五郎保育園        | 76         | 68    | 70    | 73    | 74    | 80    | 82    | 79    | 74    | 75    | 68    | 0            |             |
|        | 愛媛帝京幼稚園      | 200        | 134   | 155   | 162   | 168   | 164   | 183   | 160   | 173   | 145   | 159   | 25           |             |
|        | 大洲プリスクール     | 26         |       |       |       |       |       |       |       |       | 8     | 10    | 10           |             |
| 保育所    | 市立 喜多保育所     | 85         | 76    | 72    | 71    | 73    | 67    | 73    | 64    | 53    | 50    | 49    | -27          |             |
|        | 新谷保育所        | 120        | 121   | 114   | 107   | 102   | 97    | 73    | 84    | 65    | 61    | 57    | -64          |             |
|        | 粟津保育所        | 60         | 55    | 58    | 65    | 57    | 40    | 41    | 34    | 35    | 33    | 28    | -27          | 粟津保+三善保     |
|        | 南久米保育所       | 40         | 30    | 40    | 36    | 40    | 38    | 35    | 33    | 30    | 27    | 26    | -4           |             |
|        | 徳森保育所        | 120        | 108   | 102   | 99    | 93    | 85    | 91    | 86    | 75    | 69    | 69    | -39          |             |
|        | 長浜保育所        | 60         | 74    | 77    | 83    | 71    | 66    | 59    | 55    | 39    | 22    | 28    | -46          | 長浜保+白滝保     |
|        | 大和保育所        | 60         | 70    | 59    | 60    | 57    | 56    | 46    | 46    | 36    | 37    | 33    | -37          |             |
|        | 私立 大洲乳児保育所   | 60         | 58    | 55    | 53    | 53    | 48    | 59    | 70    | 61    | 63    | 64    | 6            |             |
| 幼稚園    | 市立 久米幼稚園     | 70         | 14    | 10    | 9     | 15    | 9     | 4     | 20    | 12    | 10    | 7     | -7           |             |
|        | 平野幼稚園        | 70         | 10    | 9     | 6     | 14    | 11    | 8     | 9     | 9     | 11    | 10    | 0            |             |
|        | 河辺幼稚園        | 70         | 2     | 1     | 3     | 3     | 3     | 2     | 0     | 0     | 1     | 1     | -1           |             |
|        | 私立 長浜幼稚園     | 15         | 24    | 34    | 21    | 20    | 17    | 14    | 10    | 6     | 6     |       | -24          | R6年度より休園    |
| 事業     | 喜多医師会病院院内保育室 | 29         | 15    | 16    | 11    | 16    | 18    | 20    | 17    | 15    | 14    | 14    | -1           |             |
| 小      | 私立 ころこ保育園    | 12         |       |       |       |       |       |       |       | 9     | 12    | 10    | 10           |             |
| 合 計    |              | 1,795      | 1,450 | 1,461 | 1,442 | 1,376 | 1,310 | 1,313 | 1,291 | 1,191 | 1,104 | 1,075 | -375         |             |

※広域受託含む

事…事業所内保育事業

小…小規模保育事業

## (2) 運営費の状況

大洲市の今後の財政は、人口減少の進展により、市税や地方交付税交付金、その他自主財源の減少が見込まれており、社会保障関係経費や公共施設などの維持管理経費の増加などにより、財政負担が増えていくことが想定されます。

そのため、これまでと同様の財源確保が困難となるため、人口減少の進展の影響を受けにくい施設運営への変革が求められます。

表2 教育・保育施設運営費の推移

(単位：千円)

| 施設名     | 施設運営費   |         |         |         |         | 参考<br>R5運営経費 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|
|         | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |              |
| 大洲こども園  | 130,680 | 137,337 | 115,909 | 126,308 | 141,340 | 158,660      |
| 東大洲こども園 | 86,436  | 99,931  | 109,551 | 116,693 | 130,634 | 144,868      |
| 菅田こども園  | 54,643  | 60,496  | 74,495  | 70,958  | 83,305  | 97,102       |
| 肱川こども園  | 52,276  | 41,634  | 43,285  | 46,838  | 50,352  | 55,130       |
| 喜多保育所   | 52,309  | 58,698  | 61,728  | 57,393  | 59,888  | 70,558       |
| 新谷保育所   | 65,325  | 63,369  | 67,251  | 65,033  | 69,438  | 87,398       |
| 栗津保育所   | 34,160  | 37,093  | 35,264  | 44,629  | 42,195  | 45,823       |
| 南久米保育所  | 38,802  | 37,536  | 34,358  | 36,065  | 39,160  | 42,949       |
| 徳森保育所   | 61,357  | 62,531  | 66,863  | 63,177  | 68,472  | 74,728       |
| 長浜保育所   | 35,850  | 34,934  | 36,654  | 34,414  | 38,804  | 47,619       |
| 大和保育所   | 66,260  | 70,544  | 69,255  | 69,522  | 60,744  | 66,918       |
| 久米幼稚園   | 16,803  | 16,129  | 18,701  | 17,511  | 13,483  | 15,285       |
| 平野幼稚園   | 17,037  | 16,550  | 18,431  | 22,905  | 13,216  | 14,333       |
| 河辺幼稚園   | 13,640  | 13,176  | 0       | 0       | 16,221  | 16,748       |
| 合 計     | 725,576 | 749,958 | 751,745 | 771,445 | 827,239 | 938,119      |
| 児童一人当たり | 799     | 858     | 867     | 1,014   | 1,189   | 1,348        |

※施設運営費は、人件費、光熱水費、修繕料など主な共通の運営経費を累計し、比較したもの。  
 ※参考のR5運営経費は、決算額から工事請負費を除いたもの。

### (3) 施設の状況

令和6年4月現在、市内の公立施設は14施設です。

昭和年間に建設された施設の中には、年数が経過し老朽化が進み、施設のバリアフリー化が図られていないなどの課題があり、こどもたちの保育環境を考えると、早急な施設整備及び統合等による再編が必要な状況にあります。

表3 公立就学前施設状況

| 施設名      | 建築年 | 西暦   | 経過年数 | 延床面積 | 構造          | 耐震基準 | 備考     |
|----------|-----|------|------|------|-------------|------|--------|
| 大洲こども園1  | H15 | 2003 | 22年  | 729㎡ | 木造          | 新    | 旧大洲保育所 |
| 大洲こども園2  | R3  | 2021 | 4年   | 557㎡ | 木造          | 新    | 増築部    |
| 東大洲こども園1 | S50 | 1975 | 49年  | 454㎡ | 木造          | 旧    | 旧肱北保育所 |
| 東大洲こども園2 | S51 | 1976 | 48年  | 485㎡ | 鉄筋コンクリート造   | 旧    | 旧喜多幼稚園 |
| 菅田こども園   | H31 | 2019 | 6年   | 655㎡ | 木造          | 新    |        |
| 肱川こども園   | H6  | 1994 | 30年  | 422㎡ | 鉄骨造         | 新    |        |
| 喜多保育所    | H5  | 1993 | 31年  | 528㎡ | 木造          | 新    |        |
| 新谷保育所    | H7  | 1995 | 29年  | 709㎡ | 鉄筋コンクリート造   | 新    |        |
| 粟津保育所    | S41 | 1966 | 58年  | 457㎡ | 木造          | 旧    |        |
| 南久米保育所   | S51 | 1976 | 48年  | 319㎡ | コンクリートブロック造 | 旧    |        |
| 徳森保育所    | S53 | 1978 | 46年  | 704㎡ | 鉄筋コンクリート造   | 旧    |        |
| 長浜保育所    | H28 | 2016 | 8年   | 430㎡ | 木造          | 新    |        |
| 大和保育所    | H19 | 2007 | 17年  | 414㎡ | 木造          | 新    |        |
| 久米幼稚園    | H9  | 1997 | 27年  | 383㎡ | 鉄筋コンクリート造   | 新    |        |
| 平野幼稚園    | S57 | 1982 | 42年  | 383㎡ | 鉄筋コンクリート造   | 新    |        |
| 河辺幼稚園    | H2  | 1990 | 34年  | 216㎡ | 鉄筋コンクリート造   | 新    |        |

### 3 将来人口と保育ニーズ等の推計

#### (1) 将来人口の推計と就学前児童数

大洲市の人口は、昭和 40（1965）年の 63,390 人から、令和 6（2024）年には 39,534 人まで減少しており、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の推計によると、令和 22（2040）年には 27,018 人、さらに令和 32（2050）年には 21,366 人まで減少すると予測されています。また、出生数の減少に伴い、就学前児童数も減少していく見込みです。

本計画の上位計画である令和 2 年 3 月策定の第 2 期総合戦略では、各種人口減少対策事業の実施により、令和 42（2060）年の目標人口を 30,000 人としています。これに基づき、様々な少子化対策を積極的に推進しているところですが、本計画は、加速する人口減少にも対応し、「こどもまんなか社会」の実現を図る必要があることから、第 2 期総合戦略策定以降における本市の急激な出生数の低下なども踏まえ、より現実に即した内容とするため、社人研推計を基に推計値を算出しています。

表 4 人口の実績及び推計値

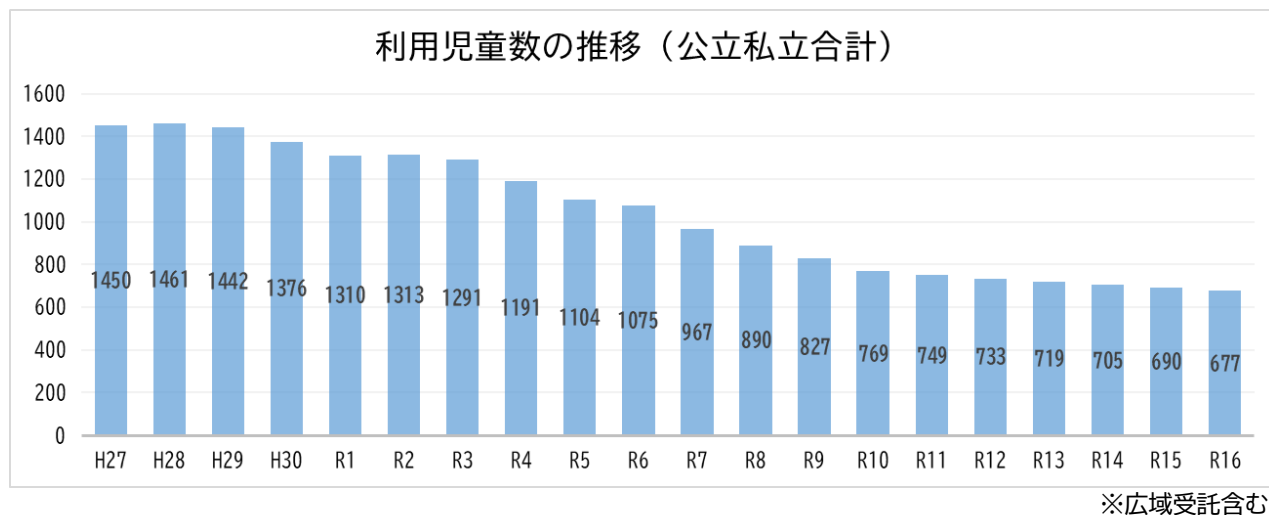
（単位：人）

|     | 実績    |       |       | 推計  |     |     |
|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|
|     | H25   | H30   | R6    | R12 | R17 | R22 |
| 0歳児 | 360   | 256   | 166   | 142 | 122 | 102 |
| 1歳児 | 391   | 306   | 174   | 147 | 126 | 104 |
| 2歳児 | 360   | 291   | 219   | 152 | 132 | 112 |
| 3歳児 | 394   | 339   | 225   | 158 | 141 | 123 |
| 4歳児 | 365   | 311   | 244   | 163 | 153 | 143 |
| 5歳児 | 375   | 358   | 276   | 165 | 155 | 145 |
| 合計  | 2,245 | 1,861 | 1,304 | 927 | 828 | 729 |

※実績値は 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口。推計値は社人研の人口推計を基に令和 6 年度の住基人口における各年齢構成比から算出。

## (2) 利用児童数の推移

今後の利用児童数について社人研推計を基に算出すると、令和6年度の1,075人から、令和16年度には677人まで減少すると予測されます。



### (3) 保育ニーズ等の推計

次に示すとおり、就学前児童数は近年急速に減少しており、今後も減少が予測されますが、全就学前児童数に占める教育・保育施設利用児童数の割合は増加しており、特に0歳児から3歳児の利用率の増加が顕著なものとなっています。これは、国の施策展開とともに幼稚園ニーズが減少する一方で、働く女性の増加や出産後の早期職場復帰の増加などの要因から、保育所・こども園ニーズが増加しているためと推測され、この傾向は今後も継続するものとして利用児童数を推計しています。

表5 将来ニーズ（大洲市民） ※広域受託を除き、広域委託を含む

【保育所籍＋幼稚園籍】

（単位：人）

|     | 実績    |       |       | 推計  |     |     |
|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|
|     | H25   | H30   | R6    | R12 | R17 | R22 |
| 0歳児 | 34    | 37    | 31    | 27  | 23  | 19  |
| 1歳児 | 158   | 161   | 121   | 102 | 87  | 72  |
| 2歳児 | 169   | 207   | 179   | 124 | 108 | 92  |
| 3歳児 | 280   | 308   | 217   | 152 | 135 | 119 |
| 4歳児 | 338   | 307   | 244   | 163 | 153 | 145 |
| 5歳児 | 357   | 357   | 276   | 165 | 155 | 145 |
| 合計  | 1,336 | 1,377 | 1,068 | 734 | 661 | 591 |

【保育所籍】

（単位：人）

|     | 実績    |       |     | 推計  |     |     |
|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|
|     | H25   | H30   | R6  | R12 | R17 | R22 |
| 0歳児 | 34    | 37    | 31  | 27  | 23  | 19  |
| 1歳児 | 158   | 161   | 121 | 102 | 87  | 72  |
| 2歳児 | 169   | 207   | 179 | 124 | 108 | 92  |
| 3歳児 | 241   | 250   | 180 | 126 | 112 | 98  |
| 4歳児 | 197   | 227   | 221 | 148 | 139 | 131 |
| 5歳児 | 217   | 266   | 237 | 142 | 133 | 125 |
| 合計  | 1,016 | 1,148 | 969 | 669 | 602 | 537 |

【幼稚園籍】

（単位：人）

|     | 実績  |     |    | 推計  |     |     |
|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
|     | H25 | H30 | R6 | R12 | R17 | R22 |
| 0歳児 | —   | —   | —  | —   | —   | —   |
| 1歳児 | —   | —   | —  | —   | —   | —   |
| 2歳児 | —   | —   | —  | —   | —   | —   |
| 3歳児 | 39  | 58  | 37 | 26  | 23  | 20  |
| 4歳児 | 141 | 80  | 23 | 15  | 14  | 13  |
| 5歳児 | 140 | 91  | 39 | 23  | 22  | 20  |
| 合計  | 320 | 229 | 99 | 65  | 59  | 54  |

表6 利用率

|     | H25   | H30   | R6     |
|-----|-------|-------|--------|
| 0歳児 | 9.4%  | 14.5% | 18.7%  |
| 1歳児 | 40.4% | 52.6% | 69.5%  |
| 2歳児 | 46.9% | 71.1% | 81.7%  |
| 3歳児 | 71.1% | 90.9% | 96.4%  |
| 4歳児 | 92.6% | 98.7% | 100.0% |
| 5歳児 | 95.2% | 99.7% | 100.0% |
| 合計  | 59.5% | 74.0% | 81.9%  |



## 4 アンケート調査から見た施設の在り方

### (1) 調査結果

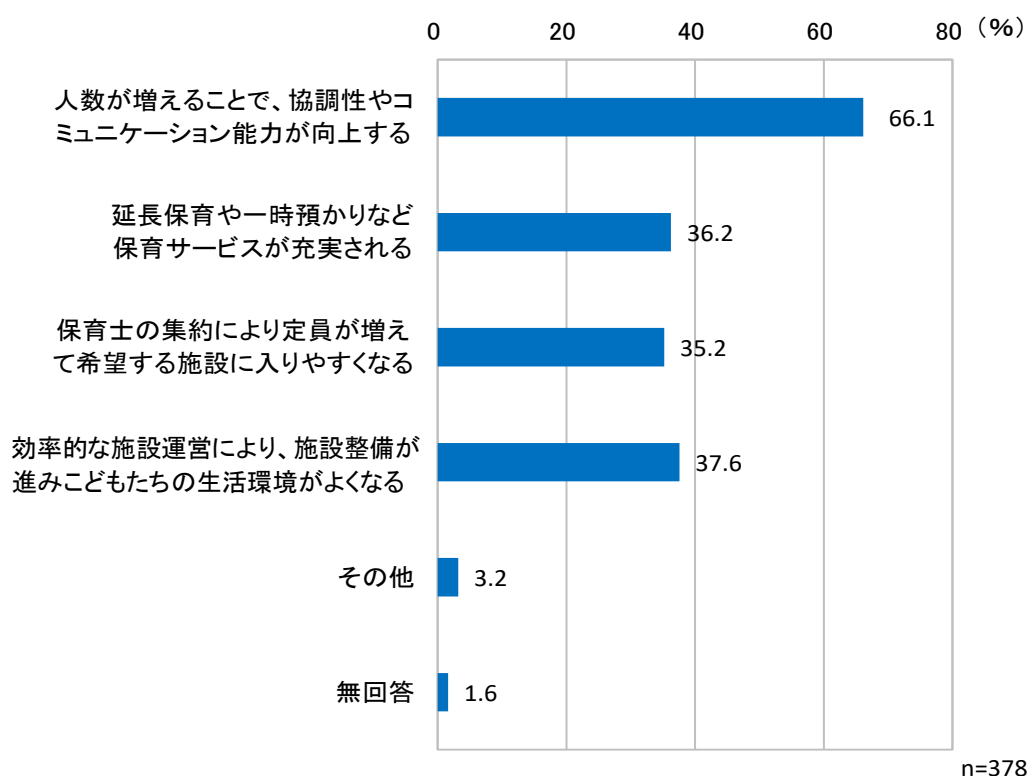
本計画を策定するに当たり、当事者である保護者の意向を参考とするため、未就学児童の保護者を対象にアンケートを実施しました。

|           | 配布数 | 回収数 | 回収率   | 調査方法                     |
|-----------|-----|-----|-------|--------------------------|
| 未就学児童の保護者 | 942 | 441 | 46.8% | 施設配布・Web 回答<br>郵送・Web 回答 |

このうち就学前施設を利用していると回答した 378 人を対象に、以下の内容でご意見をいただきました。

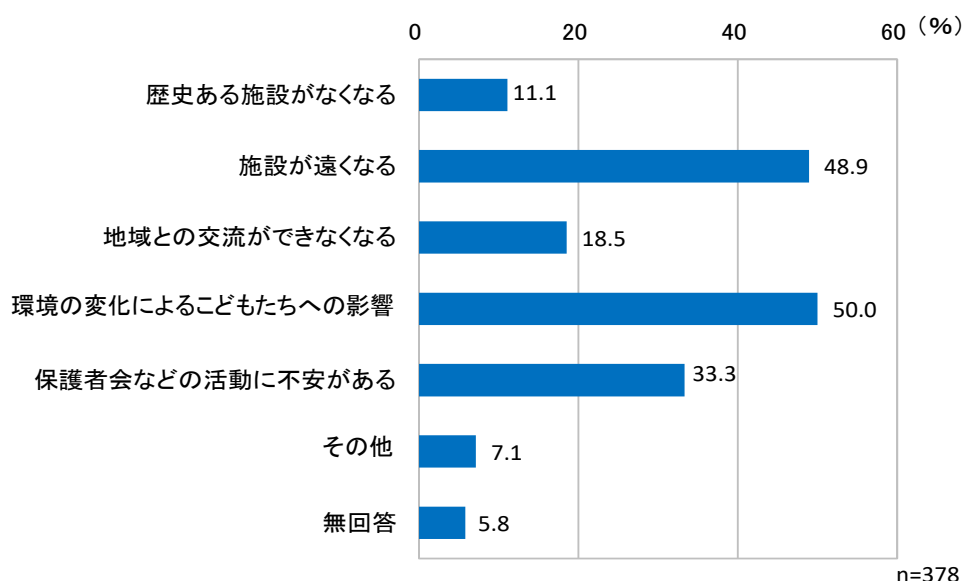
### 問1 保育施設統廃合のメリット

「人数が増えることで、協調性やコミュニケーション能力が向上する」の割合が最も高く、66.1%となっています。次いで「効率的な施設運営により、施設整備が進みこどもたちの生活環境がよくなる」(37.6%)、「延長保育や一時預かりなど保育サービスが充実される」(36.2%)となっています。



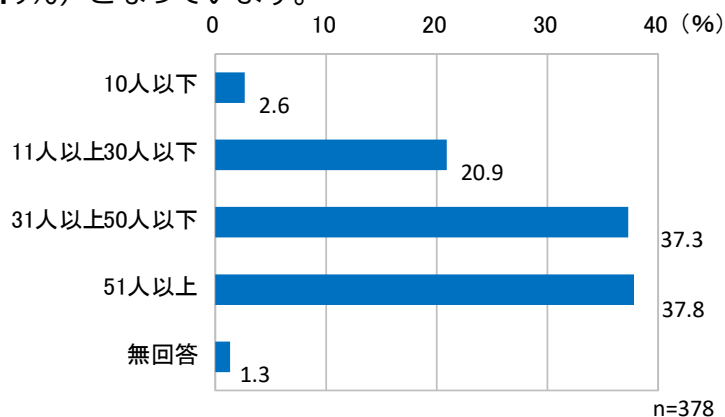
## 問2 保育施設統廃合のデメリット

「環境の変化によるこどもたちへの影響」の割合が最も高く、50.0%となっています。次いで「施設が遠くなる」(48.9%)、「保護者会などの活動に不安がある」(33.3%)となっています。



## 問3 適正と思う施設全体の利用人数について

「51人以上」の割合が最も高く、37.8%となっています。次いで「31人以上50人以下」(37.3%)、「11人以上30人以下」(20.9%)となっています。



## (2) 結果考察

集団の中での保育が望ましいという意見が多く、こどもたちの協調性やコミュニケーション能力の向上が求められていることが分かります。一方で、環境の変化によるこどもたちへの影響や、施設が遠くなるなどの懸念もあることから、職員がこどもたち一人ひとりに関わることでできる環境づくりや通園手段などの充実が求められています。

これらのことから、施設の統廃合を進め、保育士の集約により保育士の働き方改革を行いつつ、保育の質の向上を図ることが、こどもたちにとってより良い環境づくりにつながると考えられます。

## 5 再編の基本方針

乳幼児期は、こどもたちが健やかに育ち、人としての生きる力の基礎を育み始める大切な時期です。そして、その多くの時間を過ごす就学前教育・保育施設は、人間形成の基礎を培うために、こどもの発達に応じた教育・保育を連続的に提供することを基本として、全ての就学前のこどもに対し、子育て支援の場としての役割を果たすことが行政には求められます。

大洲市では、第1期計画策定時における待機児童の課題については、解消されつつありますが、公立就学前施設全体において定員を下回る状況となっています。また、一部の施設においては築年数が40年を超えるなど、老朽化の問題も依然として顕在しています。

今後、こうした問題を解消しつつ、最良の教育・保育を提供するという観点から、教育・保育の体制を確保・充実していくために、地域の需要動向、多様な教育・保育ニーズに対応できる認定こども園化を推進することを基本として、以下に示す方針のとおり、幼稚園・保育所などの再編を進めます。

### (1) 持続可能性を高める施設再編

少子化の傾向は、今後も継続・加速していくことが予測されます。その少子化の進展下においても、持続可能で効果的な質の高い教育や保育を実現するために、利用児童数が適切な集団を形成できないほど著しく減少している施設については、順次、施設の統廃合を前提として再編を進めます。

なお、本市が考える子育て施設における最低限必要となる集団規模について、幼稚園においては、円滑なグループ活動を行うことのできる目安の人数を10名以上とし、3～4名のグループを3つ以上作ることで、集団保育の教育的効果を高める施設運営を目指します。また、保育所及び認定こども園においては、施設の設置認可に必要な人数20名（厚生労働省通知児発第295号）を目安とし、再編を検討します。

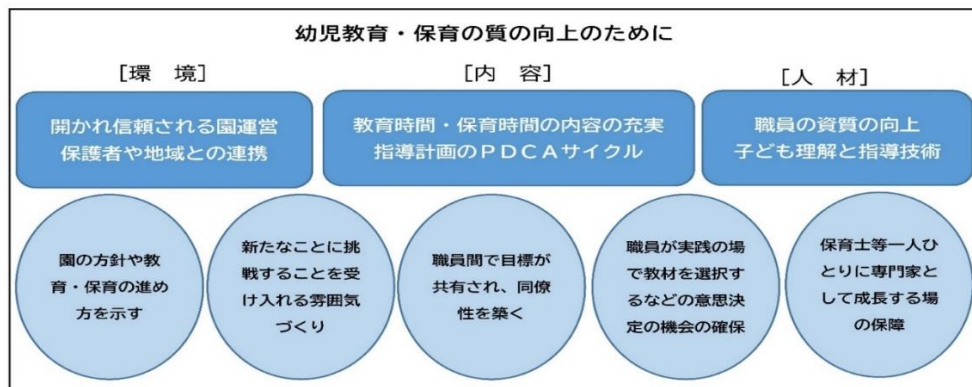
再編を進めることにより、こどもたちには一定規模の集団の中で群れ遊び、互いに切磋琢磨することで、国が示す、多くの友達と関わり様々な体験を重ね、協同性や道徳性を育み、規範意識の芽生えを促す環境の構築を図ります。同時に、保育士の集積が進むことで、安全管理や観察にかかる機能を高めながら、こども一人ひとりの資質や能力を磨き、生きる力の基礎を培うための教育・保育の質の向上を目指します。

入所(入園)人数の規模別に見る保育活動及び施設運営の効果と課題

| 規 模        | 効 果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 課 題                                                                                                                                                             |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 少人数の場合     | <p>○こどもや保護者一人ひとりに丁寧に関わることができる。</p> <p>○職員がこどもの発達や動きを的確に把握することができる。</p> <p>○こどもの状況に応じて、その日の保育(教育)活動が柔軟に対応できる。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※一定以上の集団の場合においても、保育士の集積状況により、少人数の場合の効果も発現可能となります。</p> </div>  | <p>○集団における様々な体験や、多くの友達と関わる体験の機会が限られる。(人間関係の固定化)</p> <p>○職員主導の保育になることがある。</p> <p>○活動内容の選択の幅が狭くなる。</p> <p>○こども同士の協同性を培うことが難しくなる。</p> <p>○他の教員からのアドバイスが得にくくなる。</p> |
| 一定以上の集団の場合 | <p>○多様な他者との出会いがあり、互いに刺激しあいながら、十分に関わり合い、学べる機会がある。</p> <p>○複数のグループの編成ができ、力関係が固定化せず、共に育ち合う関係づくりができる。</p> <p>○複数の職員でこどもを見ることができ、様々な角度からこどもに対して支援することができる。また、保護者からの相談等に複数の職員が応じることができ、対応の幅が広がる。</p> <p>○協同性や向上心が培われやすい。</p>                                                                                                                   | <p>○安全管理に配慮する範囲が広がる。</p> <p>○個々の要求に応えにくくなる。</p>                                                                                                                 |

## (2) 質の高い教育・保育の実現

今後、人口減少により保育士の確保が困難となることが想定される中、質の高い教育・保育を行うためには、施設の集約が不可欠となります。保育に係るマンパワーを集積させ、こども一人ひとりに向き合い、見守ることのできる体制づくりを目指します。



## (3) 私立就学前施設との協働

私立就学前施設における独自の教育・保育のカリキュラムや新たなニーズにスピーディーに対応する柔軟性など、それぞれの特徴を生かした施設運営は、今後の大洲市においても欠かせないものです。

この私立施設の運営を維持するため、公立施設の在り方を児童数の減少に合わせて調整していくことで、本市のこども一人ひとりの資質や能力を磨き、生きる力を培うことへの官民協働による教育・保育の展開を目指します。

## (4) SDGsを考慮した施設整備

今後の施設整備においては、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和23年厚生省令第63号）にのっとるとともに、SDGs（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）につながる施設整備を進めます。

具体的には、防災・減災対策として、発生が予見される南海トラフ地震などの大規模災害に備えた耐震化及び水害に備えた対策・予防を図ります。地球温暖化対策としては、太陽光発電設備など再生可能エネルギーの利用や省エネルギー機器などの導入を図ることで、施設の脱炭素化（ゼロカーボン）を目指します。また、バリアフリー化やユニバーサルデザインの採用を推進することで、誰もが利用しやすい施設を目指します。

目指す目標



## 6 再編計画

### (1) 再編方針

今後、基本方針に基づき、施設整備予定のものを除き、順次検討を行いながら再編を進めて行きます。

#### ① 栗津保育所の認定こども園化【施設整備】

昭和 41 年に建設され、経年による老朽化が著しい栗津保育所、平成 30 年 7 月の豪雨災害により、休園を経て令和 6 年 3 月閉園となった旧三善保育所の両施設を統合するとともに、多様なニーズに応えるため、認定こども園として施設整備を実施しています。

供用開始は令和 8 年度を予定しています。

#### ② 徳森保育所の認定こども園化【施設整備】

昭和 53 年に建設され、経年による老朽化や送迎時の駐車場不足などが課題となっている徳森保育所について、改築移転を図るとともに、多様なニーズに応えるため、認定こども園として整備を実施しています。また、中心市街地との距離及び医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（令和 3 年法律第 81 号）に鑑み、既存の公立施設を補完するため、医療的ケア児の受入機能を備えた施設とします。

供用開始は令和 8 年度を予定しています。

#### ③ 東大洲こども園と喜多保育所【施設整備】

東大洲こども園は、本市における都市機能の集積や人口密度から考慮して、子育て施設の中核となり、長期的・持続的に質の高い教育と保育を提供する施設として機能する必要がありますが、令和 2 年度に喜多幼稚園、肱北保育所が統合し、認定こども園化した現施設は、施設の老朽化や駐車場不足が課題となっています。今後、用地の選定、確保を行い、設計、建築工事につなげていきます。なお、供用開始に際し、同一小学校区内における効果的な施設運営の観点から、近隣に位置している喜多保育所を統合することとします。



#### ④ 長浜保育所と大和保育所

長浜保育所は、私立長浜幼稚園の休園に伴い、長浜地域において幼稚園籍の児童を受け入れることができるように、令和7年度から認定こども園へ移行します。

長浜保育所と大和保育所は、共に入所児童数が定員を割り込んでおり、今後も減少していくことが予測されます。定員に近い適切な規模での集団保育を実現するため、長浜小学校に近く、施設も新しい長浜こども園への統合を検討します。

#### ⑤ 新谷保育所の認定こども園化

子育てに係る多様なニーズに応えるため、認定こども園への移行を検討します。

#### ⑥ 南久米保育所

南久米保育所は、築後多年が経過し、施設の老朽化が課題となっていることにあわせて、利用者数が減少し定員を割り込んでいます。今後、保育に係るニーズの変化などを見ながら、最寄りの大洲こども園への統合を検討します。

#### ⑦ 河辺幼稚園

河辺幼稚園は、極めて少数での施設運営が続いており、基本方針で定めた集団形成ができにくい状況にあることから、大洲市の目指す集団の中での教育・保育環境の実現のため、整備の進む県道小田河辺大洲線の進捗を見定めた中で、肱川こども園との統合を検討します。統合に際しては、登降園に必要となる児童送迎車両を運行します。

#### ⑧ 久米幼稚園・平野幼稚園

両幼稚園とも、入園児童数が10名前後と定員を大きく割り込んでおり、今後の増員が見込めないことから、より安定的な集団教育の実現のため、再編・認定こども園化を検討します。また、計画期間内に入園児童が著しく減少した場合は、大洲こども園への統合も検討します。



表7 市立幼稚園・保育所等の再編表

令和6年度

(単位：人)

| 施設名                    | 定員数    | 児童数  |          | 再編後施設                 | 定員数（見込） |
|------------------------|--------|------|----------|-----------------------|---------|
| 大洲こども園                 | 180    | 124  | 統合を検討    | 大洲こども園                | 180     |
| 南久米保育所                 | 40     | 26   |          |                       |         |
| 久米幼稚園                  | 70     | 7    |          | 認定こども園<br>再編・こども園化を検討 |         |
| 平野幼稚園                  | 70     | 10   |          |                       |         |
| 東大洲こども園                | 171    | 125  | 統合       | 新施設整備                 |         |
| 喜多保育所                  | 85     | 49   |          | 東大洲こども園               | 180     |
| 粟津保育所                  | 60     | 28   |          | 新施設整備(R8年度供用開始予定)     |         |
| 三善保育所（閉園）              | —      | —    |          | 八多喜こども園               | 50      |
| 長浜保育所<br>※R7年度から長浜こども園 | 60     | 28   | 統合を検討    | 長浜こども園                | 60      |
| 大和保育所                  | 60     | 33   |          |                       |         |
| 肱川こども園                 | 50     | 28   | 統合を検討    | 肱川こども園                | 50      |
| 河辺幼稚園                  | 70     | 1    |          |                       |         |
| 菅田こども園                 | 116    | 75   |          | 菅田こども園                | 116     |
| 新谷保育所                  | 120    | 57   | こども園化を検討 | 新谷こども園                | 120     |
| 徳森保育所                  | 120    | 69   |          | 新施設整備(R8年度供用開始予定)     |         |
|                        |        |      |          | 徳森こども園                | 70      |
| 計14施設                  | 1,272人 | 660人 |          | 公立8施設                 | 826人    |
|                        |        |      |          | 私立7施設                 | 508人    |
|                        |        |      |          | 定員計                   | 1,334人  |

## (2) 再編に向けて配慮すべき事項

### ① 保護者や地域に対する説明

少子化の進展速度や施設の老朽化の状況を考慮すると、施設の再編は迅速に進めていく必要がありますが、利用する保護者や地域の方が不安になることのないよう、説明会の開催や広報による周知などを丁寧に行います。

### ② 計画の見直し

本計画策定の背景にある社会経済情勢や児童数等の前提条件に、今後大幅な変化が確認された場合には、適宜見直しを行います。



## 7 計画策定の経緯

| 年 月 日                    | 会 議 名           | 内 容                        |
|--------------------------|-----------------|----------------------------|
| 令和6年5月1日～<br>令和6年5月15日   |                 | 保護者アンケート調査                 |
| 令和6年7月11日                | 第1回大洲市子ども・子育て会議 | 大洲市立幼稚園・保育所再編計画について        |
| 令和6年9月26日                | 第2回大洲市子ども・子育て会議 | 第2期大洲市立幼稚園・保育所等再編計画の概要について |
| 令和6年11月21日               | 第3回大洲市子ども・子育て会議 | 第2期大洲市立幼稚園・保育所等再編計画案について   |
| 令和6年12月18日～<br>令和7年1月18日 |                 | パブリックコメント実施                |
| 令和7年2月20日                | 第4回大洲市子ども・子育て会議 | 第2期大洲市立幼稚園・保育所等再編計画案について   |
| 令和7年3月                   |                 | 第2期大洲市立幼稚園・保育所等再編計画策定      |

---

## 第2期大洲市立幼稚園・保育所等再編計画

令和7年3月

■編集・発行 大洲市役所 市民福祉部子育て支援課

〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690番地の1

TEL：0893-24-5718

FAX：0893-24-0961

---